

尺八サロンコンサート VOL.4

—未来に残したい私達の尺八音楽—

Shakuhachi Player's Selection!

第8回 尺八奏法講座 —プロから学ぼう尺八奏法—

日時 2022年7月2日(土) 13:30 受付開始 14:00 開講 (2時間)

講師 ふじわら どうざん
藤原 道山

会場 studio With The Heart ※江戸川橋駅(東京メトロ有楽町線)徒歩1分

料金 6,000円(一般) / 5,000円(サポーター・学生)

回数券(3回): 15,000円(一般) / 12,000円(サポーター・学生)

尺八サロンコンサート Vol.5

日時 2022年9月6日(火) 18:30 開場 19:00 開演

会場 新宿文化センター 小ホール

料金 前売: 4,000円(一般) / 3,000円(サポーター・学生)

当日: 4,500円(一般) / 3,500円(サポーター・学生)

第3回 定期公演 <伝統尺八—革新尺八—>

日時 2022年12月8日(木) 18:30 開場 19:00 開演

会場 北とぴあ・つつじホール

料金 前売: 5,000円(一般) / 4,000円(サポーター・学生)

当日: 6,000円(一般) / 5,000円(サポーター・学生)

上記イベントへのお申込み/お問い合わせ

一般社団法人 日本尺八演奏家ネットワーク (JSPN) 事務局

公式ホームページ <https://www.jspn.org/>

Eメール jspn.sec@gmail.com

尺八サロンコンサート Vol.4 —未来に残したい私達の尺八音楽—

主催: 一般社団法人 日本尺八演奏家ネットワーク (JSPN)

実行委員会: 田野村 聡 (委員長)

小濱 明人 川村 葵山 神 令 松本 宏平 長谷川 将山

チラシデザイン: 澤本 捨史

■ プログラム ■

1. 二重奏曲 きんこりゅうほんきょく 琴古流本曲 しか とおね 鹿の遠音
とくまる じゅうめい たじま けんいち 徳丸 十盟 田嶋 謙一
2. 独奏 古典曲 とざんりゅうほんきょく 都山流本曲 こうげつちよう 懐月調 (流祖 中尾 都山 作曲)
のむら ほうざん 野村 峰山
3. 五重奏曲 ペンタゴニア Pentagonia II (関 一郎 作曲) せき いちろう
よしこし えいざん まつもと こうへい たけい まこと もとなが ひろむ はせがわ しょうざん 吉越 瑛山 松本 宏平 竹井 誠 元永 拓 長谷川 将山
4. 独奏 現代曲 ちくらいごしよう 竹籟五章 (諸井 誠 作曲) もろい まこと
かざま ぜんじ 風間 禅寿
5. 三重奏曲 かなえ 鼎 (松本 雅夫 作曲) まつもと まさお
いしがき せいざん かむむら きざん たけだ おうざん 石垣 征山 川村 葵山 武田 旺山
6. 四重奏曲 うしな 失われた 『時』 (三宅 一徳 作曲) とき みやけ かずのり
いわた たくや あしがき こうめい たのむら そう あべ だいすけ 岩田 卓也 芦垣 皋盟 田野村 聡 阿部 大輔

2022年5月17日(火) 開場 18:30 開演 19:00

日暮里サニーホール コンサートサロン

曲目解説

- 鹿の遠音**（しかとおね 琴古流本曲） 尺八 徳丸十盟／田嶋 謙一

この曲の正式な曲名は「呼返鹿遠音」で、初代黒澤琴古（1710－71）が長崎の虚無僧寺・正寿軒の一計子より習ったもの、と三代目の琴古の手記に記されている。この時代の曲で、原則として二本の尺八で演奏されるものは他に見当たらない。本来「尺八本曲」は、作者不詳の原型となる旋律や音型があって、それが時代とともに変化・発展していったものと考えられるが、「奥山に 紅葉ふみ分け 鳴く鹿の〜」の歌を十分に意識した曲想で、その綿密に計算された構成から、近年の研究では一計によって作曲されたものであろうと考えられるようになった。

一計についての詳しい記録は無いが、初代琴古の「師」とも言うべき人で、相当な名人だったと推測される。

曲は序盤では節を交互に吹き合わせ、さらに騒音的な音色を用いる特殊奏法である「ムライキ」や漸次加速する掛け合い、偶発的な協和音・不協和音の出現など、技巧を凝らしたダイナミックなドラマが展開される。

流派を問わず、尺八を志す者ならば誰もが「未来に残したい尺八音楽」の筆頭に上げるであろう名曲である。

（徳丸十盟）

					
					
					
					
					
					
					
					
					
					

- 懐月調**（こうげつちょう 流祖 中尾 都山 作曲／1903 年発表） 尺八 野村 峰山

河内之国、観心寺にて、月光に彩られたる観心寺の夕べ、作者の心の懐きを一篇に託し自由奔放に表現したる曲。尺八の古典本曲では、いくつかの曲で作曲者名が「伝承」として伝えられる曲もありますが、基本的に作曲者不詳、無名性というのが特徴です。その意味において、この《懐月調》は都山師の処女作ということだけでなく、作曲者を明示した尺八本曲という点でも画期的な作品です。《懐月調》という曲名から、作曲者が寺院での月光を体験し、また、月を歌った詩として有名な蘇東坡の『前・赤壁賦』を意識されたのではないかと思います。

この詩については、尺八に近い中国の楽器である洞簫を舟の中で吹く場面を描いた部分を掲げています。

「客中、洞簫を吹く者有り、歌に倚って之に和す、その声、嗚嗚然として怨むが如し、慕うが如し、泣くが如し、訴うるが如し、余韻、翾々として絶えざること縷の如し。」

楽曲は、三段からなります。初段は、仲秋の名月を表示し、その素晴らしい月に寄せる思いを描いています。二段は、月光を背に浴びて立つ自分という角度からの描写。三段は、残月の情趣を表現。今回は初段・二段を演奏いたします。（野村 峰山）

					
					
					
					
					
					
					
					
					
					
					

- Pentagonia II**（ペンタゴニア 関 一郎 作曲） 尺八 I 吉越 瑛山／II松本 宏平／III竹井 誠／IV元永 拓／V長谷川 将山
この曲の原曲、5人の独奏尺八と100人の尺八群の為の『Pentagonia』は1994年 国際尺八音楽祭（横山勝也師主催）の委嘱で作曲し同年8月岡山県美星町の野外ステージで初演されました。その後1995年 CD「竹韻〜横山勝也 尺八の世界」（キングレコード、現在廃盤）に収録のため6人編成に直し、2000年に再度修正し尺八五重奏『 Pentagonia II 』となりました。Pentagonia とはPentagon（五角形）とSymphonia（調和、楽隊）の合成語です。

曲は無調的な響きで始まり次第に五音音階による音列的なモチーフは重なり合い変容し、変拍子的なリズムの連続、西洋古典ハーモニーの導入、ポピュラー音楽的な響き等を経て、最後は日本の伝統的な旋法による祈り（レクイエム）の音楽となり終わります。

（関 一郎）

- 竹籟五章**（ちくらいごしょう 諸井 誠 作曲） 尺八 風間 禅寿

この曲は1964年に初代・酒井竹保の影響を受け作曲された現代本曲。

第一楽章「ふんだ 芬陀」は古典本曲の思想が強く出ている。当時は街灯も、道行く車も人も、夜には少なく、今よりもずっと深い闇に数多の星々が輝き、浮ぶ月には様々な思いが込められていたことだろう。

第二楽章「そうちく 爽竹」は「さわやかな竹の音と言うほどの意。」と綴られている。

第三楽章「きょらい 虚籟」は古典本曲の虚鈴や虚空といった曲から着想を得ており、自問自答のようにも感じれる音楽感、聞き手もまた、自分と向き合えるような楽章ではないでだろうか。

第四楽章「はちく 破竹」は伝統からの型破りな奏法を用いて、前の楽章から一気に現実に戻されるような感覚が魅力的な楽章。現在においては当然の奏法となったスタッカートや変則的なリズムも、当時は相当な驚きをもって迎えられたのではないだろうか。

第五楽章「めいあん 明暗」はその名の通り音のコントラストが特徴的。前4楽章のモチーフが順番に戻ってくることから諸井誠がこの曲とともに過ごした日々に思いを馳せているかのように感じた。

（風間 禅寿）

					
					
					
					
					
					
					
					
					
					
					

- 鼎**（かなえ 松本 雅夫 作曲） 尺八 I 石垣 征山／II川村 葵山／III武田 旺山

1966年、尺八三本会の委嘱により作曲（51歳の時）。この年には、この曲の前にバイオリンと箏の「対話」、あとに箏と小管弦楽の「箏協奏曲」、バイオリンと箏の「コスモス（宇宙）」を書きました。何か異様なものをぶつけ合う、といった作曲の傾向でした。この曲の場合も同質の3本の尺八をどの様にぶっつけ合うかが課題でした。尺八ー仏教ー中国ーシルクロードと尺八の歴史をたどって考えてゆくうちに、殷の銅器ー鼎、が思い浮びました。「鼎」は元来、煮たき用具だったのでしょう。煮えたぎる有様は丁度シルクロードの歴史の様です。勿論三本会の3も意識してつけた題名です。

楽器はE、D、A、の長さの違った尺八を使いました。この3本の全音だけで白鍵の7音を出すことが出来ます。黒鍵にあたる半音には不思議な翳があります。明暗、表裏、のぶっつけ合いで書いてみようと思いました。（東芝レコード 〈現代尺八楽・三本のひびき〉（TH-7072）「作曲者のことば」より）

					
					
					
					
					
					
					
					
					
					
					

- 失われた『時』**（うしなとき 三宅 一徳 作曲） 尺八 I 岩田 卓也／II芦垣 皋盟／III田野村 聡／IV阿部 大輔

子供の頃の記憶は、いつも幻想的で甘美な世界に包まれていて、夢にも似た不条理さを伴って自分の中に存在している。確かに現実のものだった筈のこれらの出来事は、既に忘れ去られてしまった様々な事柄によって、その連続性を断ち切られ、曖昧な記憶の中で再構築された「自分の演出による作品」に変質して存在しているのだろう。

その作品の中では、過ぎ去ってしまった時は限りなく輝いていたように感じられる。

この曲は、思い出の中だけで感じる事のできる、そんな甘くてせつない、しかも手が届かなくて、やるせないような懐かしさをもつ「失われた時」に対するオマージュである。1988年6月初演。

（三宅 一徳）

一般社団法人 日本尺八演奏家ネットワーク

JSPN

Japan Shakuhachi Professional-players Network

サポーター 〈賛助会員〉 のご案内

JSPNは新たな尺八音楽発信の源として2018年に設立された、国内唯一のプロ尺八演奏家団体です。国内外での活発な尺八音楽の情報発信、そして豊富な経験を元に柔軟な発想や演奏力をもって新たな提案を行っていくために、「サポーター(賛助会員)」への御協力をお願い申し上げます。

特典

- ・ 主催イベントの割引・優先販売
- ・ サポーター限定情報の配信
- ・ 動画などサポーター限定コンテンツも多数配信予定
- ・ その他JSPNの活動に関する優先的なご案内

年会費

個人:1口 2,000円以上／団体・法人:1口 20,000円以上／U25:3,000円
※ご寄付も随時受け付けております。

会員期間

4月1日より翌年3月31日まで

入会方法

- ・ メール(jspn.sec@gmail.com)
 - ・ ホームページの専用フォーム(<https://www.jspn.org/supporter>)
 - ・ 本紙下部の申込書
- のいずれかの方法でご入会いただけます。
詳細は裏面をご覧ください。

※詳しくは裏面もご覧ください

JSPNサポーター申込フォーム

会員区分 個人 団体／法人 U25

(フリガナ)
氏名

(フリガナ)
団体／法人名

※団体／法人会員のみ

住所 〒

電話

メール

※PCから受信可能なアドレスをご記入ください

U25サポーター新設！

若い尺八愛好家を応援！25歳以下の方がご入会できるサブスク型賛助会員「U25サポーター」を新設いたしました

- ・年会費3,000円でJSPNの全ての催し(配信含む)へ無料でご招待いたします。
※事前にお申し込みが必要です。
- ・申し込み時点で25歳以下の方が入会できます。
- ・ご入会申し込み後にJSPN事務局より年齢確認資料の提出と年会費のお支払いについてご連絡いたします。
- ・年齢確認後、直近イベントからご招待いたします。
- ・年度ごとに更新が必要となります。(年度切り替え期にJSPN事務局よりご案内を差し上げますので、それに従って更新手続きをお願いします)
- ・26歳の誕生日が属する年度末(3月31日)まで有効。
- ・開催会場の関係でご招待人数の上限を設けることがあります。その際はお申し込みの先着順とさせていただきますので予めご了承ください。

特典

- 個人サポーター [年会費 一口 2,000円 以上]
 - ・主催イベント(配信含む)の割引
 - ・販売物の割引・特典・優先販売
- 法人・団体サポーター [年会費 一口 20,000円 以上]
 - ・全ての主催イベント(配信含む)へご招待
 - ・販売物の贈呈
 - ・ホームページや広報物でのご芳名(代表者／連絡先)の掲載(※非掲載も可)
- U25サポーター [年会費 3,000円]
 - ・25歳以下限定
 - ・全ての主催イベント(配信含む)へご招待
 - ・販売物の割引・特典・優先販売

入会方法

以下のいずれかの方法でお申し込みください

- メール(jspn.sec@gmail.com)にて以下の必要事項を明記の上お申し込みください
 - ・氏名 ・メールアドレス ・電話番号 ・住所 ・会員種別(個人／団体・法人／U25)
 - ※メールアドレスはPCから添付ファイルが受信可能なものをご記入ください
- ホームページ(<https://www.jspn.org/supporter>)の申し込み専用フォーム
 - ※右QRコードからもアクセスできます
- 本紙の表、申し込みフォームへご記入の上、演奏会・イベント時に受付へお渡しください

